



平成 23 年 4 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 小 林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光
(コード：8742、東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室長 宮 崎 誠 二
(TEL 03-3664-3511)

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であります株式会社フジトミは、平成 22 年 10 月 22 日に発表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想を添付資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる影響につきましては、現在集計中であり、数値がまとまり次第発表いたします。

(添付資料)

株式会社フジトミの開示資料

以 上



平成 23 年 4 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 フジトミ
代表者名 代表取締役社長 細 金 英 光
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
問合せ先 取締役業務本部長 新 堀 博
電話 03-3209-5500

業績予想の修正に関するお知らせ

現在までの決算集計状況より、平成22年10月22日に公表した平成23年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、平成23年3月期の個別業績は下記のとおりとなる見込みであります。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(1) 連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	2,240	△709	△685	△703	△105 円 20 銭
今回修正 (B)	1,898	△767	△745	△900	△134 円 78 銭
増減額 (B-A)	△342	△58	△60	△197	—
増減率	△15.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	1,544	△954	△884	△836	△122 円 00 銭

(2) 修正理由

事業開始後 3 年目を迎え大幅な拡大を見込んでいた太陽光発電機及びオール電化機器等の販売 (子会社㈱エコ&エコ) の売上高が予想を下回り 909 百万円 (前年比 51.6%増) に留まり、また、当社で新たに開始した LED 照明の販売の売上高も価格競争の激化等で予想を下回り 9 百万円に留まった結果、連結営業収益は 1,898 百万円 (前回予想比 15.3%減、前期比 22.9%増) となる見込みであります。なお、投資サービス事業部門の営業収益は、前回 10 月に引下げた予想値に近い実績となっております。

これに伴い、営業利益は△767 百万円 (前回予想比△58 百万円)、経常利益は△745 百万円 (前回予想比△60 百万円) となる見込みであります。

なお、商品先物取引の営業拠点の集約に伴う従業員の退職特別加算金 64 百万円、固定資産除却損 49 百万円、投資有価証券評価損 38 百万円などの特別損失の計上により、当期純利益は△900 百万円 (前回予想比△197 百万円) となる見込みであります。

2. 平成 23 年 3 月期通期個別業績見込

(1) 個別業績見込 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
22 年 3 月期実績 (A)	637	△682	△312	△281	△41 円 09 銭
23 年 3 月期見込 (B)	698	△682	△650	△1,288	△192 円 84 銭
増減額 (B - A)	61	△0	△338	△1,007	—
増減率	9.6%	—	—	—	—

(注) 当社は個別業績予想を開示しておりませんので、比較は前期実績と行っております。

(2) 前期実績との差異について

親会社(株)小林洋行からの顧客移管 (平成 22 年 2 月) 等により商品先物取引受託業務の受取手数料が 644 百万円 (前期比 21.5%増) と増収となったこと等により、商品先物取引自己売買業務等の売買損益は 1 百万円 (前期比△66 百万円) と減収となったものの、営業収益は 698 百万円 (前期比 9.6%増) となる見込みであります。

一方、営業費用は、削減に努めたものの、LED照明販売への参入による増加、商品先物取引部門の広告宣伝費及び電算機費の増加などで 1,371 百万円 (前期比 3.9%増) となり、営業利益は△682 百万円 (前期比△0 百万円) となる見込であります。

経常利益は、子会社丸梅(株)からの配当金が前期の 300 百万円から 0 (無配) となったこと、及び、親会社(株)小林洋行に賃貸していた同社の本社土地建物を平成 22 年 3 月に同社に売却したことによる受取地代家賃の減少などにより、△650 百万円 (前期比△338 百万円) となる見込であります。

当期純利益は、子会社丸梅の商品先物取引業務の廃止に伴う同社株式の評価損 534 百万円、商品先物取引業の営業拠点の集約等に伴う従業員の退職特別加算金 29 百万円、固定資産除却損 43 百万円、投資有価証券評価損 38 百万円などの特別損失の計上により、△1,288 百万円 (前期比△1,007 百万円) となる見込であります。

(注) 上記に記載した数値は、現在までの集計結果に基づく速報値で、会計監査人による監査前であるため、後日開示する通期業績とは異なる場合があります。

以 上